

(別紙様式2)

令和4年度調布市学童クラブ待機児童対策計画

令和3年5月1日時点の学童クラブ待機児童数

234人

1 学童クラブの待機児童が発生している原因

人口減少社会下であっても、調布市における人口数はまだ増加が続いていることのほか、大型マンションの建設が続いており、局所的な人口数・児童数の増加が継続しているため。

2 学童クラブの待機児童を解消するための対策

(1) 方針

待機児童の発生している地域・発生が見込まれる地域での学童クラブ定員数の確保

(2) 具体策

既に待機児童の発生している地域やこれから新たに発生が見込まれる地域を対象に学童クラブの新規開設を行う。

3 「学童クラブの待機児童を解消するための対策」を講じることによる効果

学童クラブ定員数の増加により次年度において35人分の定員が新たに確保できる見込みである。
また、各施設において緊急対応として定員以上の受入を行うことで待機児童の減少を図る。
来年度以降についても学童クラブの整備・開設を予定しており、待機児童の減少を見込んでいる。

4 これまでの推移

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
小学生児童数	10,577	10,812	10,958	11,100	11,230
増減	—	235	146	142	130
登録児童数	1,778	1,932	2,137	2,279	2,260
増減	—	154	205	142	▲19
待機児童数	117	123	149	159	234
増減	—	6	26	10	75

5 今後の見込

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	累計
小学生児童数	11290	11591	11767	
増減	60	301	176	
登録児童数	2444	2479	2579	
増減	184	35	100	
確保策の手法 (当該年度に新規で実施する手法)	・緊急定員対応(133) ・布田小学校内新設学童クラブの整備	・緊急定員対応 ・第三小学校学童クラブの開設(35) ・第三小学校学童クラブの開設(40) ・滝坂・緑ヶ丘小学校地域学童クラブの整備	・緊急定員対応 ・滝坂・緑ヶ丘小地域での学童クラブの開設(60)	
待機児童数	135	100	0	
増減	▲99	▲35	▲100	▲234